

# 読谷高等学校 地理Bシラバス

地理B (後半)	担当者	
	単位数	2単位
	学科・学年・学級	普通科3年1組～8組

## 1. 学習の到達目標等

学習の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自然環境、資源・産業、都市・村落、生活文化等を通して現代世界の特色を探る。</li> <li>2. 現代の世界を地域（市町村規模、国家規模、州・大陸規模）ごとに学ぶ。</li> <li>3. 現代世界の諸課題（国家間、日本の近隣諸国、環境・エネルギー問題、人口・食料問題、居住・都市問題、民族・領土問題）を理解する。</li> <li>4. 地理という学習（教科）が世界を捉えるうえで重要であることを理解するとともに、世界の諸問題に対して考え、自分の意見を言える力を身につける。</li> </ol>
使用教科書 副教材等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帝国書院『新詳地理B』</li> <li>・地図帳「新詳高等地図」（帝国書院）</li> <li>・『最新地理図表 GEO』</li> </ul>

## 2. 学習計画及び評価方法等

### (1) 学習計画等

学期	月	時数	学習内容	学習のねらいと目標
1 学 期	4	8	3章 人口・村落・都市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村落と都市について、村落・都市の立地や発達・機能や、日本の都市の特徴を考察する。</li> <li>・都市・居住問題について、世界の都市・居住問題を大観し、その要因と発生のしくみを、発展途上国、先進国、日本の事例で考察するとともに、都市・居住問題の解決には何が必要かを考察する。</li> </ul>
	5	8	4章 生活文化、民族・宗教	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活文化について、衣食住を取りあげ、それらの分布や地域的差異と世界的な画一化について考察する。民族と宗教について、民族と言語、世界の宗教の分布や特徴、生活との関わりについて考察する。</li> <li>・民族と宗教について、民族と言語、世界の宗教の分布や特徴、生活との関わりについて考察する。</li> <li>・現代世界の国家について、国境と領域のきまりやさまざまな国家の分類について考察する。</li> <li>・民族・領土問題について、現代世界の民族・領土問題を大観し、日本の民族や領土、世界各地の民族の共生についての課題を考察する。</li> </ul>
	6	8	III部 現代世界の地誌的考察  1章 現代世界の地域区分 2章 現代世界の諸地域  東アジア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域区分とは何かについて、地域概念や地域区分の目的、意義を理解し、有用性に気づく。</li> <li>・地域区分のさまざまなスケールについて、大地域と小地域のスケールによる違いを理解し、有用性に気づく</li> <li>・東アジアについて、形式的な地域区分に基づき、地形と気候、中国の民族と人口、食生活と農業、工業化と経済発展、中国の動向と日本、朝鮮半島の成り立ち、韓国の産業、隣国との交流という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。</li> <li>・東南アジアについて、形式的な地域区分に基づき、自</li> </ul>

	7	6	東南アジア	然、歴史と文化・民族、農業と変化、ASEANと工業、ASEAN諸国の変化と諸課題という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。
2 学 期	9	8	南アジア  西アジア	<ul style="list-style-type: none"> <li>南アジアについて、形式的な地域区分に基づき、地形と気候、歩みとヒンドゥー教、インドの農業と農村、工業・IT産業という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。</li> <li>西アジアと中央アジアについて、乾燥帯が広がる自然環境に着目した地域区分に基づき、自然、イスラームの生活文化、交易と都市、資源と産業の面において、類似的な性格の二つの地域を比較して考察する。</li> </ul>
	10	8	北アフリカ  ヨーロッパ	<ul style="list-style-type: none"> <li>北アフリカとサハラ以南のアフリカについて、中近東文化と中南アフリカ文化という文化に着目した地域区分に基づき、気候と植生、歴史的背景と文化、一次産品への依存、生活の変化と他地域との結びつきの面において、対照的な性格の二つの地域を比較して考察する。</li> <li>ヨーロッパについて、形式的な地域区分に基づき、気候と大地、ヨーロッパの成り立ち、域内の結びつき、農業と共通農業政策、移り変わる工業、これからのヨーロッパという多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。</li> </ul>
	11	8	ロシア  アングロアメリカ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロシアについて、亜寒帯が広がる自然環境に着目した地域区分に基づき、歴史と社会の変化、変化した産業、極東ロシアと日本の結びつきという多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。</li> <li>アングロアメリカについて、ゲルマン文化という文化に着目した地域区分に基づき、自然環境、アメリカ合衆国の移民国家としての発展、人口と都市、農業、科学技術と産業、世界のなかのアメリカ合衆国、アメリカ合衆国との結びつきが強いカナダという多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。</li> </ul>
	12	7	ラテンアメリカ	ラテンアメリカについて、ローマン文化という文化に着目した地域区分に基づき、自然環境、文化、大土地所有制と農業の変化、工業化と生活の変化という特色ある事象と他の事象を有機的に関連づけて動態的に考察する。
	1	7	オセアニア	オセアニアについて、形式的な地域区分に基づき、一つの大陸と太平洋の島々、移民の歴史と多文化社会、強まるアジアとの結びつき、アジア諸国に輸出される農畜産物という特色ある事象と他の事象を有機的に関連づけて動態的に考察する。

3 学 期			3章 現代世界と日本	・現代世界における日本の特色について、多面的・多角的に考察し、日本が抱える地理的な諸課題を探究する活動を通して、その解決の方向性や将来の国土のあり方などについて展望する。
	2	2		1年間の総まとめ、感想など。

### 3. 教材

教科書「新詳地理B」初訂版（帝国書院）

地図帳「新詳高等地図」（帝国書院）

最新地理図表 GEO（第一学習社）

### 4. 授業方法及び形態

一斉講義式が中心となる。基本事項をパワーポイントや板書、プリント等を通してまとめたり、地図やグラフ等の作成を実際に行うことによって理解を図る。科目の性格上、時事問題や国際問題等との関連が深いので、該当する単元では新聞記事やテレビ放送の視聴などを積極的に取り入れる。

### 5. 評価の観点及び評価方法

評価の観点			
関心・意欲・態度	思考・判断	表現・処理	知識・理解
現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを系統地理的、地誌的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断する。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択、活用することを通して現代世界の地理的事象を追求する技能を身につけるとともに、追求した過程や結果を適切に表現する	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追求の方法を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	評価方法	評価方法	評価方法
出席状況、授業態度、課題への取組と提出、ノート・プリントの提出などで評価	授業での発言やその考え方、ノート・プリントの内容や定期考査などで評価	授業での発言や板書、定期考査、課題やノート・プリント、発表学習などで評価	授業での発言や定期考査、課題やノート・プリント、発表学習などで評価

上記の評価の観点を踏まえ次のような配分で総合評価を行う。

知識・理解、表現・処理、思考・判断	関心・意欲・態度	知識・理解、表現・処理 思考・判断
定期テスト	出席状況、授業態度、取組 意欲ノート・宿題等の提出	発表、ノートや提出物の内容
80%～70%		20%～30%